

ごあいさつ



県の花：ペニバナ

山形県小学校教育研究会理科部会
会 長 會 田 昭 広
(山辺町立山辺小学校)

平成29年度山形県小学校教育研究会理科部会長を仰せつかっている會田と申します。微力ではありますが、今年度も山形県理科教育の充実・発展のために努力をして参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

本会は、昭和24年に山形県理科教育研究会として発足し、県内各地において理科教育の指導力向上を図るための研修活動や、地域素材を教材化するための調査・研究活動が行われてきました。また、子どもたちの理科学習に対する意欲の向上と科学する心の育成、実験・観察技能の向上等をねらいとして、児童生徒理科研究発表会も開催されるようになりました。

その後、昭和38年に県内の教育研究団体の再編成が行われ、これまでの山形県理科教育研究会に代わり、山形県小学校教育研究会理科部会（略して県小理）、山形県中学校教育研究会理科部会（県中理）、山形県高等学校教育研究会理科部会（県高理）の3部会編成になり、それぞれの校種ごと研究実践活動を進めてきており、現在に至っております。

さて、本年度は本県において6年ぶりとなる県大会が11月16日（木）に、日本海に面した庄内の地で行われます。今回の会場は、「『ユネスコ食文化創造都市』『ラムサール条約認定湿地』『日本遺産サムライシルク』『加茂水族館』『鶴岡サイエンスパーク』など、『知』を活かし研究開発や新たな産業の創造、地域振興を図っている街」鶴岡市となります。中学校に加えて小学校は2校での開催となりますが、小・中学校ともたくさんの参会者による活発な研究協議を期待しております。

本県にとっての課題は、理科教育のさらなる活性化と、今後増えてくる若手の教員の育成と捉えております。どうか先輩の先生方をはじめ、県小理の先生方におかれましては、共に研究を深め、理科教育のさらなる充実と振興・発展のためにご指導・ご支援賜りますようお願い申し上げます。